

テーブル可変型 プロジェクタースクリーン

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この「取扱説明書」は、本製品を安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用前に必ずお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

⚠ 注意

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると
人が障害を負う、または財産に損害を与える恐れがあります。



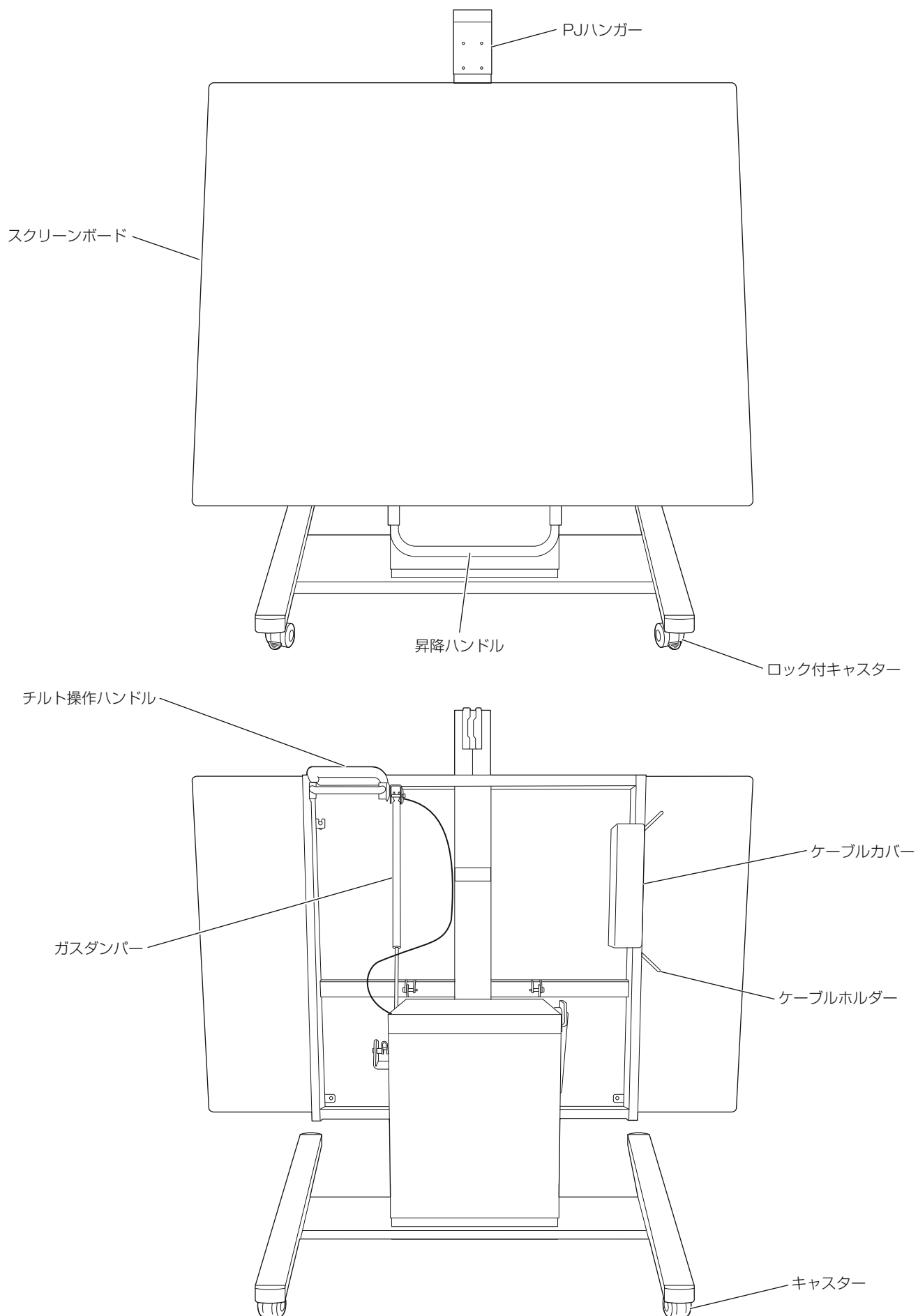
- スクリーンボードにもたれかかったり、ぶら下がったり、上に乗ったりしないでください。けがや破損の原因となります。
- スクリーンボード裏側の部品には手を触れないでください。けがの原因となります。



- 平らな場所で使用してください。それ以外の場所で使用すると、転倒によるけがや破損の原因となります。
- スクリーンボードを昇降するときは、上部に障害物がないことを確認してください。破損の原因となります。
- 昇降時は、プロジェクターとパソコン機器を接続するケーブルの長さを十分確保してください。ケーブルが引っぱられて機器の落下、破損の原因となります。
- スクリーンボードをチルトするときは、前後左右に人がいないこと、障害物がないことを確認してください。けがや破損の原因となります。
- テーブルの状態ですクリーンボードを昇降しないでください。
- スクリーンボードをテーブルにするときは、昇降ハンドルでスクリーンボードを一番下に下げてからチルトしてください。
- 移動時は、必ずテーブルの状態ですクリーンボードを一番下まで下げてから移動してください。
- 移動時は、段差等の乗り越えには注意してください。転倒によるけがや破損の原因となります。
- 使用中にねじやノブの緩みによるガタツキや揺れが生じた場合は、ねじまたはノブを締め直してください。ガタツキや揺れが生じた状態で使用すると、けがや破損の原因となります。

※ プロジェクターが取り付けられていない状態で昇降、チルトすると重くなる機構になっています。製品の不良ではありません。

各部の名称



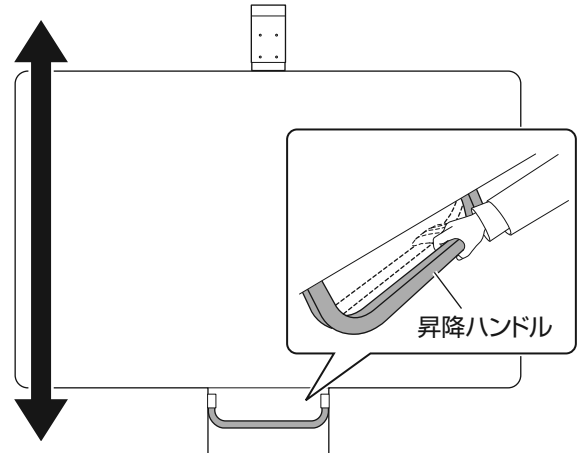
使用方法

本製品は、スクリーンボードを立てて使用するスタンドと水平にして使用するテーブルの2種類の使用方法があります。用途によってお使い分けください。

スタンド時：高さを調整する

1. 昇降ハンドルを握って上下に動かし、高さを調節します。
2. 昇降ハンドルを離して任意の高さに固定します。

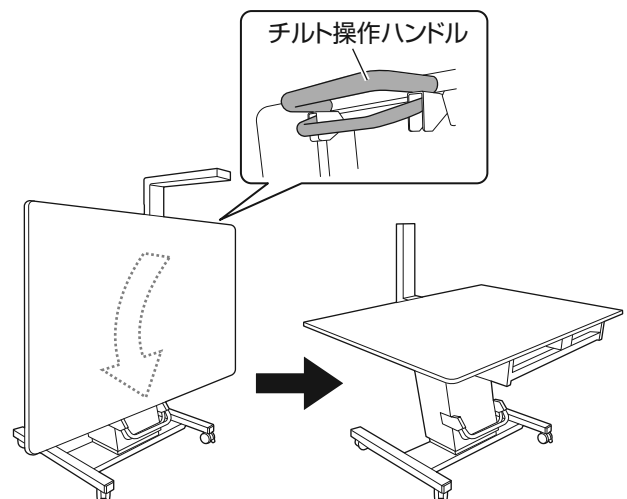
◆注記 ・スクリーンボードを昇降するときは、取り付けたプロジェクターに頭をぶつけないようご注意ください。また、天井や照明器具等にぶつけないようご注意ください。



スクリーンをテーブルの状態にする

1. スクリーンボードを一番下まで下げます。
2. チルト操作ハンドルを握ってスクリーンボードをチルトして、テーブルの状態にします。

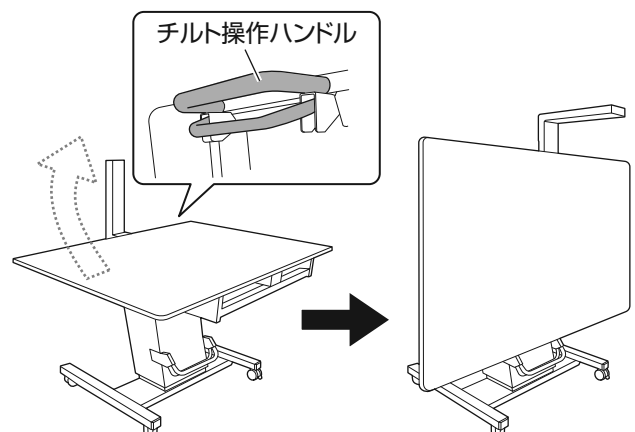
◆注記 ・スクリーンボードをチルトするときは、前後左右に人がいないこと、障害物がないことを確認してください。けがや破損の原因となります。
・テーブルの状態ですクリーンボードを昇降しないでください。



スクリーンをスタンドの状態にする

1. チルト操作ハンドルを握ってスクリーンボードをチルトして、スタンドの状態にします。

◆注記 ・スクリーンボードをチルトするときは、前後左右に人がいないこと、障害物がないことを確認してください。けがや破損の原因となります。
・テーブルの状態ですクリーンボードを昇降しないでください。

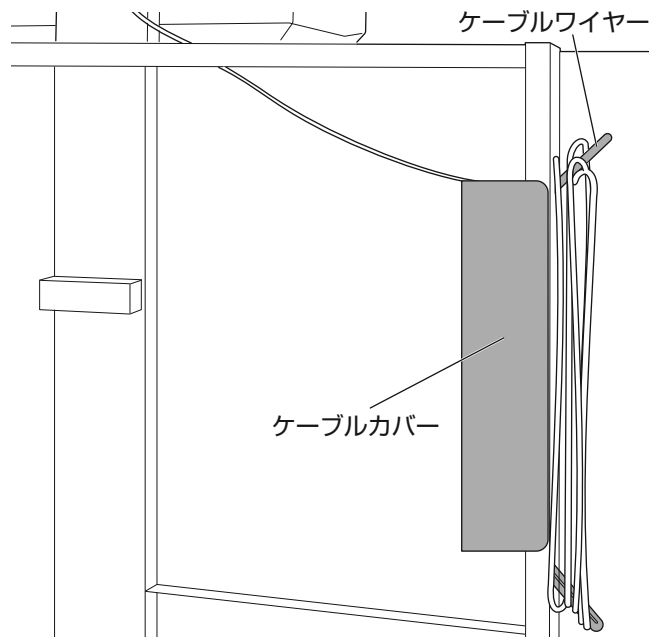


◆注記 ・スクリーンボードを斜めの状態にすることができますが、プロジェクター本体が斜めの状態での投写に対応していない場合がございます。詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

ケーブルを整理する

1. プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルは、ケーブルカバーを通し、ケーブルワイヤーに巻き付けて収納します。

- ◆注記
- ・ガスダンパーなどの稼働部に、ケーブルが干渉しないよう整理してください。チルト操作時にケーブルがはさまって断線するなど破損の原因になります。プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルが短い場合は、延長ケーブルをご用意ください。
 - ・ケーブルカバー内には無理にケーブルを収納しないでください。スクリーンボード背面が押され、投影画面がゆがむ原因となります。

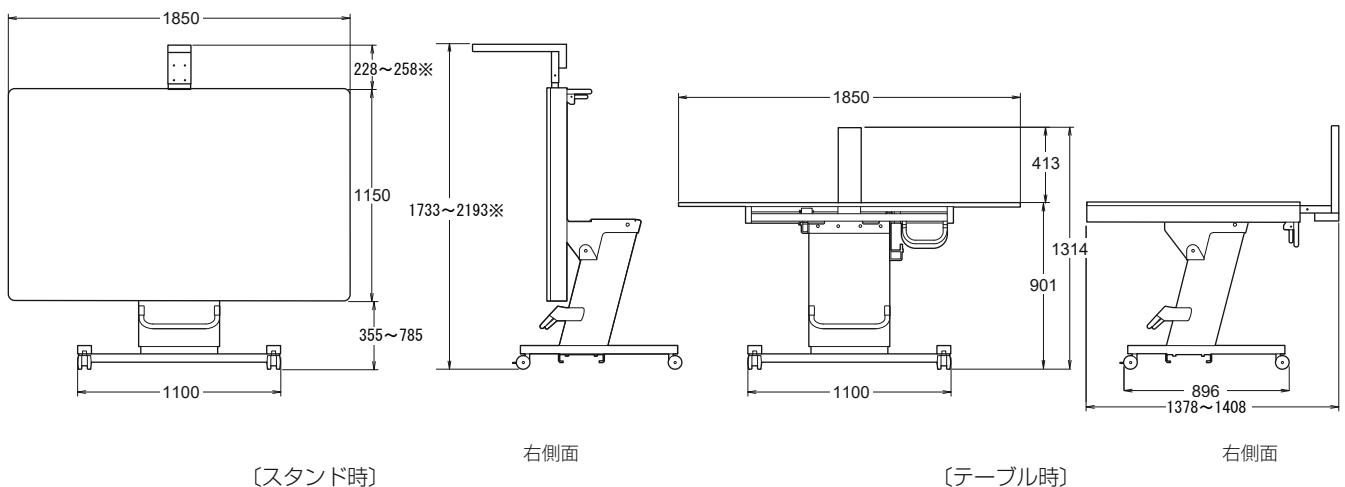


スクリーンボードのお手入れ方法

- ・スクリーンのお手入れは、乾いた柔らかい布で拭くか柔らかいブラシでほこりを払ってください。汚れがついたときは、薄めた中性洗剤液で軽く拭いたあとに水拭きをして自然に乾燥させてください。
- ・お手入れにはベンジン・シンナーなどの化学薬品は使用しないでください。スクリーンの表面が変質し、均一な映写効果が得られなくなります。

基本仕様

重量：140kg



※取り付けるプロジェクターによって高さは変動します。

単位:mm

製造元・問い合わせ先

泉 株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課 〒141-0021 東京都品川区上大崎三丁目1番1号 JR 東急目黒ビル 15F TEL:(03) 5719-7482